

富山県立大学ニュース

平成30年5月発行
富山県立大学学生委員会

NO.119

平成30年度入学式

4月5日(木)



入学式の様子



新入生代表誓詞



CONTENTS

- News Digest
- 学生レポート
- 新任教員紹介
- INFORMATION など

ポートランド州立大学 (PSU) 語学研修

2月15日(木)～3月11日(日)までの25日間、本学の学生4名が米国オレゴン州ポートランド市で語学研修に参加しました。実践的な英語力を身につける授業に加え、期間を通してホームステイをする英語一色の毎日を通して、英語力の向上だけでなく、米国文化や社会についても理解を深めました。

参加学生からは、「英語を苦手としている人や外国未経験の人ほど参加してほしい！」などの感想があり、今後グローバル化する社会に適應できる人材になるためのよい機会になっています。

なお、本研修は例年夏期(8～9月)も実施しています。



学内合同企業研究会

2月26日(月)～28日(水)の3日間にわたり、本学大谷講堂で、学内合同企業研究会を開催しました。この企業研究会は、平成31年3月卒業・修了予定の学生が、企業の業種・職種等について研究し、企業の採用スケジュールなどについて直接企業の人事担当者から情報収集を行うもので、3日間で延べ373名の学生が参加しました。

今回から開催規模を拡充し、1日目～2日目の午前中が県外企業を中心に150社、2日目の午後～3日目は県内企業を中心に150社、計300の企業が参加しました。

スーツに身を包んだ学生達は、熱心に各企業のブースを回り、人事担当者の説明を聞き、積極的に質問していました。

県産材木製品の寄贈式

3月2日(金)に、南砺市在住の島田 勝由さんの自己所有林で生産したトチノキ(推定樹齢300年)を、富山県森林組合連合会と農林中央金庫富山支店が、井波彫刻協同組合の協力を得て加工した木製品(テーブル、イス、衝立)の寄贈式が行われ、寺井 幹男 理事長からそれぞれに感謝状を贈りました。このほか、昨年5月に魚津桃山運動公園で開催された第68回全国植樹祭で使用された演台やベンチの寄贈も受けており、あわせて学内に設置してあります。木の良さやぬくもりが感じられる木製品にぜひ触れて、使ってみてください。



中国大連トレーニー派遣

北陸銀行主催で中国大連へのトレーニー派遣が3月7日(水)～10日(土)に実施されました。本学からは2名が参加し、富山大学・金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学の学生とともに、北陸銀行大連事務所でのセミナー、YKK、コマツNTCの視察や、大連理工大学学生との交流会、旅順視察などを行いました。参加した学生からは、「実際に訪れて五感で現地を知ることの大切さを実感した」「今回の研修で得た気づきや視点をこれまでの経験と結びつけ、自分の道を突き進めていきたい」という感想が寄せられ、実りある研修となりました。

平成29年度学位記授与式

3月17日(土)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成29年度富山県立大学学位記授与式が行われました。式では、石塚 勝 学長が「社会に貢献する立派なエンジニアやリサーチャーとして大きく成長することを祈念する」と式辞。続いて寺井 幹男 理事長が「自分の長所を伸ばし、今後の人生を切り拓いていただきたい」と挨拶を述べました。

また、山崎 康至 富山県副知事が「夢や高い志、情熱を持って、果敢にチャレンジし、全国や世界の舞台上で活躍していただきたい」と知事の祝辞を代読されました。

式に併せ、各学科において成績優秀と認められた学生1名に、学長からベストチューデント賞が贈られました。受賞された方々は、次のとおりです。

工学部機械システム工学科	叶 優 介
工学部知能デザイン工学科	吉 岡 和 輝
工学部電子・情報工学科	藤 尾 和 裕
工学部環境・社会基盤工学科	今 井 裕 規
工学部生物工学科	山 下 綾 菜





平成30年度入学式

4月5日(木)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成30年度富山県立大学入学式が行われ、436名の新しい学生を迎えました。式では、石塚 勝 学長が、「好奇心を持って勉学に励み、大学生活を有意義に送られることを祈念する」と式辞。続いて寺井 幹男 理事長が、「積極的にチャレンジし、青春を謳歌し、素晴らしい大学生活を送っていただきたい」と挨拶を述べました。

また、石井 隆一 富山県知事が「日々努力を重ねられ、明日の富山県や日本をリードする原動力となることを期待しています」と祝辞を述べられました。

最後に工学部の杉山 孝太さん、大学院の今井 裕規さんが新入生を代表して誓詞を述べました。

本学教員等の受賞等について (※学科名、職位は受賞当時のもの)

受賞者	表彰の名称	表彰内容(論文名等)	受賞日
竹井 敏 教授 (医薬品工学科)	World Academic Championship-2018 in Nanotechnology (International Agency for Standards and Ratings)	Outstanding scientific contributions in Nanotechnology	2018年2月7日
真田 和昭 教授 (機械システム工学科)	平成29(2017)年度日本材料学会複合材料部門論文賞	マイクロカプセル含有開繊炭素繊維/エポキシ樹脂積層材料の層間せん断強度と自己修復	2018年2月28日
鈴木 浩司 准教授 (教養教育)	日本植物分類学会 Best Paper Award	Morphological and Molecular Phylogenetic Analyses of Geranium yesoense (Geraniaceae) in Japan	2018年3月9日
伊東 聡 准教授 (知能デザイン工学科)	精密工学会論文賞	An optical lever by using a mode-locked laser for angle measurement	2018年3月16日

本学学生等の受賞等について (※学科名、学年は受賞当時のもの)

受賞者	学科等	学会賞名	受賞年月	指導教員
西山 慧	機械システム工学科4年	日本機械学会北陸信越支部賞学生賞卒業研究発表の部	2018年3月	教授 真田 和昭
小倉 涼雅	知能デザイン工学科2年	日刊工業新聞社主催 理工系学生科学技術論文コンクール 優秀賞	2018年3月	教授 神谷 和秀 准教授 伊東 聡
寺崎 桃香	博士前期課程生物工学専攻2年	第12回日本ゲノム微生物学会年会 優秀ポスター賞	2018年3月	教授 西田 洋巳
菅野 功貴	博士前期課程知能デザイン工学専攻1年	Excellent Paper Award (The 2018 International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things (ATAIT2018))	2018年4月	講師 佐保 賢志

学生レポート

ドイツ短期留学を経験して

生物工学科4年 金木 紗恵

私は、2017年4月から約10カ月間“トビタテ!留学JAPAN”の6期生として、ドイツに留学をしてきました。留学中は、ドイツのBraunschweigにあるHelmholtz Centre for Infection Researchという研究機関でインターンシップを行いました。研究機関では、PhDと共に、糸状菌に関するプロジェクトに取り組みました。具体的に、菌の培養から代謝産物の抽出・精製・構造決定について学び、抗菌活性試験も行いました。取り組んだプロジェクトについては、共同でプロジェクトを進めたPhDによってジャーナルにまとめられ、共同著者として名前を載せていただくことができました。研究所滞在中、研究以外にも外部で行われたFungal Autumn Schoolや研究所内のレクチャーなどにも参加し、より専門的なスキルを身に付けることができました。また、休日にはドイツ国内を観光したり、友人とEU圏の他国へ訪れたり、とても有意義な時間を過ごしました。留学



するにあたって、留学計画、トビタテへの応募・合格そして現地活動とたくさん大変なことがありましたが、それ以上に技術的にも人間的にも成長することができ、私の人生の中で忘れることのできない貴重な経験となりました。私が経験したように、“留学”は必ず良い変化を与えてくれるはずです。富山県立大学には、他大学のようにたくさんの交換留学制度はありませんが、いくつかのプログラムがあります。また、トビタテのように自らプランを考え海外へ飛び込んでいくことも可能です。チャンスは待つものではなく、自分から掴みにいくものです。海外留学に興味のある方は、留学することを不安だと感じることもあると思いますが、是非大学生の間にトライし、チャンスを掴み取ってください。



ドンドンマスマス! 県大CAMPUS NOW!

このコーナーでは、本学の学科拡充・新設に伴うさまざまな取組みをお伝えします。

○設置認可申請書を提出

平成31年4月開設に向けて、平成30年3月30日に文部科学省へ設置認可申請書を提出しました。

○オープンキャンパス

看護学部学生募集に向けて、オープンキャンパスを開催します。詳細は、HPやFacebookに掲載予定です。

日にち:①6月16日(土) ②7月28日(土)

会場:富山県立大学 射水キャンパス



10月頃にも富山キャンパスにて実施予定です♪

看護学部の特徴

高度化する医療や超高齢社会に伴う看護の役割拡大に対応するため、看護の基礎教育を重視し、学生の看護力を最大限に伸ばします。

①自ら学ぶ力を身につける

主体性を持って協力して課題に対応する学び方を多く取り入れるほか、豊富な教材を備え、学生が自ら学ぶ姿勢を支援します。

②多様な実習の場で実践力をつける

富山県立中央病院、県内の公的病院や訪問看護ステーション、様々な保健医療福祉施設で、地域に密着した実習を行うことができます。

③工学的な視点を「看護」の世界へ

「安全と快適を支援する看護学、工学連携」科目を配置し、工学的視点を取り入れた人にやさしい看護学について学び、新時代の看護師を目指します。

④キャリア形成科目で自分らしい生き方を探す

1年次から、自分らしい看護師像や働き方を考えます。県内公的病院などへの就職もサポートします。

⑤さらなるステップアップの道へ

今後、保健師・助産師を養成する「大学専攻科」、看護学を研究する「大学院」を設置予定です。

※記載内容は予定であり、変更する場合があります。

OB・OG 紹介

北陸から世界に発信するソフトウェアを

リコーITソリューションズ(株) 村井 翔平

(2010年3月 富山県立大学 工学部 知能デザイン工学科 卒業)

1. 学生時代

私は学生時代、知的インタフェース工学講座 平原 達也 教授の研究室に所属し、頸部の筋電位でダミーヘッドを制御する研究に従事していました。大学で学んだコンピュータの基礎的な知識や、研究室で深めたプログラミングの知識は、現在の仕事にとっても役立っていると感じます。さらに、研究室所属時代には、ゼミの進捗報告を初め、プレゼンテーションのやり方を学べる機会が多くありました。私は仕事柄、プレゼンテーションをする機会が多いので、学生時代に学んだことは、この点でも非常に役立っています。

また、学生時代はバドミントンサークルの副部長を務めていました。バドミントンはライフワークとして、現在も続けています。時には学生時代にサークルで知り合った仲間とダブルスを組み、大会に出場することもあります。

2. 現在の仕事

私は富山県立大学で4年間の学生生活を経て、リコーITソリューションズ(株)に入社しました。様々なリコー製品に組み込まれる制御ソフトウェアの開発のほか、新しいクラウドサービスの開発・保守、グループのITインフラの構築・運用・保守など、リコーグループをIT技術で支えるのがリコーITソリューションズ(株)です。

私の所属する金沢事業所では、新規事業系のソフトウェア開発に取り組んでいます。私は RICOH THETA のソフトウェア開発のリーダーとして、チーム全体のマネジメントや、新規技術の技術調査などを担当しています。2013年に発売された「RICOH THETA」から、最新機種である「RICOH THETA V」までの5機種の開発に、計7年間携わってきました。

3. 仕事のやりがい

RICOH THETA は、一度シャッターを切るだけで撮影者を取り囲む全地球イメージ・動画を撮影することができる世界初のデバイスとして、テレビやSNSなど様々なメディアで大きな反響を得ることができました。このような市場で仕事ができるのは、最も大きなやりがいです。

また、常に最新の技術に触れることができるのも、やりがいのひとつです。技術は、日々進歩しています。RICOH THETA のような反響が大きく、期待も大きい製品の進化のスピードに負けなよう、自分の技術や知識を常にアップデートする必要があると考えています。

立場上、時にはメンバーや上司から厳しい意見をもらうことがあるため、しんどさを感じることもありますが、これらのやりがい自分が自分を支えてくれています。

4. 最後に

私は、地元である北陸にいながら、世界に発信するソフトウェア開発に携わることができており、日々やる気と使命感を持って仕事できています。優秀なソフトウェアベンダは首都圏に集中していると思われがちですが、決してそんなことはありません。学生の皆さんも、漠然と会社を選ぶのではなく、自分が本当に頑張れる仕事を見極めて頂きたいと思います。



博士の学位授与報告

3月17日(土)の学位記授与式において、博士(工学)の学位を授与された方の氏名と論文題目は次のとおりです。

【課程博士】

氏名	専攻	論文題目
羅 亜非	機械システム工学専攻	過渡熱測定と構造関数による等温面抵抗の定義とその応用に関する研究
H. M. Ayala Sunali Herath	環境工学専攻	Public Health and Groundwater Quality in Sri Lanka and Defluoridation of Drinking Water In relation to Chronic Kidney Disease of unknown etiology (スリランカにおける公衆衛生と地下水水質ならびに飲料水からのフッ素除去 原因不明の慢性腎臓病に関連して)

人事消息

異動区分	職	氏名	異動区分	職	氏名
就任 (30.4.1)	学生部長 入試・学生募集部長 附属図書館長 計算機センター所長 生物工学研究センター所長	伊藤 伸哉 中島 範行 福原 忠志 鳥山 朋二 浅野 泰久	転入 (30.4.1)	事務局長 看護学部準備室長 経営企画課企画・広報グループ主幹 経営企画課企画・広報グループ課長補佐 経営企画課副主幹 経営企画課副主幹 経営企画課主任 教務課主任(看護学部準備担当) 教務課主任 経営企画課主事 教務課主任(看護学部準備担当) 教務課主事 教務課主事(看護学部準備担当) 教務課主事 教務課主事 教務課主事	山下 康二 海雅 人 佐藤 洋子 焼田 孝美 福井 弘司 亀倉 清理 池田 香織 古田 恭子 長岡 篤子 池田 野加奈子 夏米 早紀 伏喜 陽祐 中林 健斗 浅野 雄 川田 倫寛 桶谷 千晶
新規採用 (30.4.1)	(工学部) 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 講師 助教 助教 助教 (看護学部開設準備担当) 准教授	吉河 武文 畠山 哲夫 大寺 康夫 長井 良憲 大三 玄輔 岡本 啓樹 伊藤 勉樹 棚橋 満哉 内田 慎哉 大坂 一哉 兵衛 一太 八尾 惇守 深谷 圭介 越田 美穂子	退職 (30.3.31)	教授 教授 教授 教授 准教授 教務課主事 教務課主事	川越 誠 前田 幸男 松本 三千人 松弘 弘成 原口 志津子 安宅 彰隆 麻生 彰薫 押上 卓也
昇任 (30.4.1)	教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 講師 講師	堀川 教世 小柳 健一 畠山 友行 杉岡 健一 遠藤 史久 松本 公功 西原 弘 戸田 弘	転出 (30.3.31)	事務局長 経営企画課企画・広報グループ主幹 経営企画課企画・広報グループ課長補佐 経営企画課副主幹 経営企画課副主幹 教務課主任 教務課主任 経営企画課主事 経営企画課主事 教務課主事 教務課主事 教務課主事	田中 篤人 津裕 裕子 上山 文子 山崎 系 水口 仁志 畑野 学志 朝野 裕子 正川 芹菜 澤田 菜摘 角谷 惠 石黒 僚 春山 菜穂子

● 新任教員紹介 ●



電子・情報工学科 教授 吉河 武文

4月に電子・情報工学科集積機能デバイス工学講座に教授として着任いたしました。それまでは民間企業に通算で27年ほど勤務し、その後長野高専の教授を経ての着任になります。専門は集積回路におけるアナログ回路の設計工学です。また、経営学修士(MBA)を取得していますので、市場での出口戦略を考慮した研究アプローチを実施してまいります。高周波やセンサに向けたユニークな回路およびシステムの設計開発とそれらの活用を通して、実社会に資する研究と教育を行っていきたく存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



電子・情報工学科 教授 畠山 哲夫

4月より電子・情報工学科集積機能デバイス工学講座に教授として着任いたしました。昨年度末までは(国研)産業技術総合研究所 先進パワーエレクトロニクス研究センターに勤務、2016年3月までは(株)東芝 研究開発センターに勤務し、20年近く省エネ半導体であるSiCパワー半導体の研究に取り組んでおります。幸にしてSiCパワー半導体は商品化され電車やエアコンの省エネに貢献しております。今後は研究に加えて教育を通じて社会に貢献したいと考えております。よろしくお願いいたします。



電子・情報工学科 教授 大寺 康夫

4月に電子・情報工学科通信ネットワーク工学講座に教授として着任しました。自然豊かな富山の地に職を得られましたことを嬉しく思います。昨年度までは東北大学大学院工学研究科の通信工学専攻において、准教授として通信および計測用の微小光学素子の創製やその電磁界シミュレーション、近赤外分光イメージングへの応用等の研究を行ってきました。これから研究活動を通して、技術者としての素養を意識した学生の教育、及び成果の地域還元に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



医薬品工学科 教授 長井 良憲

4月より医薬品工学科バイオ医薬品工学講座の教授として着任いたしました。私は内科医として臨床に携わった後、佐賀医科大学で医学博士号を取得後、国内外で免疫学、造血分化の研究を行ってきました。11年前に富山大学医学部寄附講座に異動後は、炎症メカニズムの解明とそれを制御する化合物の研究を産学官連携で取り組んできました。本学では地域の特性を生かした研究を推進し、地方から世界へ成果を発信すると共に、地域産業に貢献できる人材の育成に精一杯取り組む所存です。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



教養教育 准教授 大石 玄

このたび教養教育の担当教員として着任いたしました。労働法が専門領域であり、健全な労使関係の形成を目指してスペインで行われてきた施策について研究しております。また、前任校である釧路高専ではワークルール教育に取り組んでまいりました。さらに、アニメ・マンガが社会や風土と結びつくことによって生まれる《地域コンテンツ》の事例分析にも取り組んでおり、ここ富山には各地の事例に接するべく足を運んでおりました。地域社会の発展に貢献できるよう取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



教養教育 准教授 三本 啓輔

4月より教養教育の物理学担当として着任いたしました。これまで、「希土類化合物における強相関電子状態」、「シリコン原子空孔」、「鉄系超伝導体」を3つの主軸として物性物理の研究を行ってきました。今後は富山県立大学ならではの研究も展開していき、それらの成果を富山県に還元できるよう努めたいと思います。また学生が困難に遭った時は、個の力量もさることながら連携を活用して解決する道筋を立て、責任感をもって仕事をやり遂げることができるよう、教育にも貢献していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



機械システム工学科 准教授 岡村 茂樹

4月より機械システム工学科の設計生産工学講座に准教授として着任しました。これまで、日本原子力研究開発機構や三菱重工業にて、耐震技術の研究開発を行ってまいりました。その間、東京電機大学にて非常勤講師としても教育活動に従事して参りました。耐震設計、振動工学が専門で、地震等の振動から建物を守る研究を行っていく予定です。これまでの経験を活かし、研究、教育の両面から、地域の発展に少しでもお役に立てるよう尽力していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



機械システム工学科 准教授 伊藤 勉

4月より機械システム工学科材料設計加工工学講座の准教授として着任しました。生まれは宮沢賢治や高村光太郎に縁のある岩手、学生時代を東京で過ごし、その後、神奈川、茨城、福島、香川、再び茨城と日本中を渡り歩き、富山へ辿り着きました。専門は軽金属 (Al, Mg, Ti) を中心に材料物理学、材料強度物性学、接合科学を基礎とした教育・研究を行っています。富山は軽金属分野でも活発な地域であり、今後の教育・研究・地域貢献を非常に楽しみにしていると同時に本県の益々の発展に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願い致します。



機械システム工学科 准教授 棚橋 満

4月より機械システム工学科材料設計加工工学講座に准教授として着任いたしました。1999年に名古屋大学で博士(工学)を取得後、同大学大学院工学研究科で助手、助教、講師として19年間、材料工学に関する教育・研究に従事してきました。こちらでは、ナノ粒子の分散凝集・配列制御、無機/高分子系ナノコンポジット開発に軸足を置いた材料の新機能創出ならびに新たな分野への応用展開を目指した研究に取り組んでいきたいと思っています。富山県の益々の発展に貢献できるよう尽力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



環境・社会基盤工学科 准教授 内田 慎哉

4月より環境・社会基盤工学科に准教授として着任しました。2008年に岐阜大学で博士(工学)の学位を取得し、日本学術振興会特別研究員・PD(大阪大学)、大阪大学大学院工学研究科・特任助教、佐賀大学大学院工学系研究科・助教、立命館大学理工学部・講師で研究・教育に携わってきました。社会基盤施設の維持管理、特に、非破壊評価技術に基づく診断システム、装置・ロボット開発やその社会実装に関する研究に取り組んでいます。富山から全国へ、そして世界で活躍できる研究・教育者を目指します。どうぞ末永くよろしくお願いいたします。



医薬品工学科 准教授 大坂 一生

2018年4月より医薬品工学科の准教授として着任致しました。北陸先端科学技術大学院大学の技術職員、横浜市立大学の特任助教、北陸先端科学技術大学院大学の講師を経て、本学にきました。専門分野は質量分析学で、研究では薬物代謝分析やオミクスのための迅速かつ高感度な検出法と構造解析法を開発しています。より実用的かつ洗練された分析手法を開発するためには、異分野の情報も必要であると考えていますので、お気軽にお声かけください。研究と教育、また地域・産業貢献に尽力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



環境・社会基盤工学科 講師 兵動 太一

環境・社会基盤工学科に講師として着任いたしました。大学院を修了後、ゼネコンの現場監督や大学の技術職員をしておりましたが、2014年に早稲田大学で博士(工学)を取得後、東京理科大学の助教として私の大学教員の道がスタートしました。これまで、地震時の液状化や津波に対する対策や杭の施工の研究に取り組んでいましたが、この経験を元に、今後は北陸地方、特に富山県の防災対策に貢献できるような研究を進めたいです。また、射水から世界に情報発信できるよう海外との交流も活発にしていきたいです。よろしくお願い致します。



電子・情報工学科 助教 八尾 惇

はじめまして、2018年4月より電子・情報工学科の集積機能デバイス工学講座に助教として着任いたしました八尾惇と申します。2015年に博士号を取得後、測定、パワーエレクトロニクス、磁性材料などについて研究を行ってきました。今後は、幅広い研究テーマを活かし、システム統合研究を行う所存です。学生と共に成長し、授業や研究などを通し、様々なことを伝えるとともに、地域社会に貢献していく所存です。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



電子・情報工学科 助教 太田 守

本年度より工学部電子・情報工学科の助教として着任致しました。2017年に金沢大学大学院自然科学研究科で博士号(工学)を取得後、同大学で日本学術振興会特別研究員PDとして1年間勤務しておりました。私の専門分野は主に電波観測により得られる自然科学データの解析です。これまでに降水観測や、地球周辺宇宙空間のプラズマ波動観測データを用いた現象理解に関する研究に従事してきましたが、今後はさらにデータ解析技術の適用範囲を広げ、地域社会への貢献に向けて取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



生物工学科 助教 深谷 圭介

4月より生物工学科生物有機化学講座の助教として着任しました。私は2017年に慶應義塾大学で博士(理学)を取得後、テキサス大学オースティン校にて博士研究員として研究活動を行って参りました。専門分野は有機合成化学で、博士課程時には生物活性を有する天然有機化合物の全合成研究、博士研究員の際には新規触媒反応の開発研究に携わりました。本学ではこれまでの経験を活かした新たな研究を展開するとともに、学生の教育・研究指導に全力で取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

加えて、平成31年4月に設置予定の看護学部開設準備担当として、新たに1名が着任しました。



看護学部開設準備担当 准教授 越田 美穂子

4月から看護学部開設準備担当の准教授として着任しました。私は魚津市で保健師をしたあと、国立公衆衛生院、都立大で学び、香川大学で教員として、公衆衛生看護学を専門に行政や企業で活動する保健師の育成と、保健師の人材育成プログラム開発や、保健政策の効果評価、ネットワーク形成と地域づくりをテーマに研究を行ってきました。その間、都市科学修士、公衆衛生学修士、保健学博士の学位も取得しました。今後は故郷での看護職育成と、保健師や地域住民との協働による研究や地域貢献活動に尽力したいと考えます。よろしくお願い致します。

CAMPUS NEWS

■授業料(前期分)の振込期限・口座引落日は5月28日(月)です。

(1年生) 5月初旬にお送りした振込用紙で振込みをお願いします。

(2年生以上) 口座引落のため、引落日前日までに、ご登録頂きました口座に入金をお願いします。

【 授業料(工学部・大学院)： 前・後期各 267,900円 】

※上記授業料に加え、北陸銀行以外の金融機関からの振込・引落には、所定の手数料(在学生・保護者のみなさまのご負担となります。)が必要です。

問合せ先：事務局経営企画課財務係 TEL：0766-56-7500 (内線218)

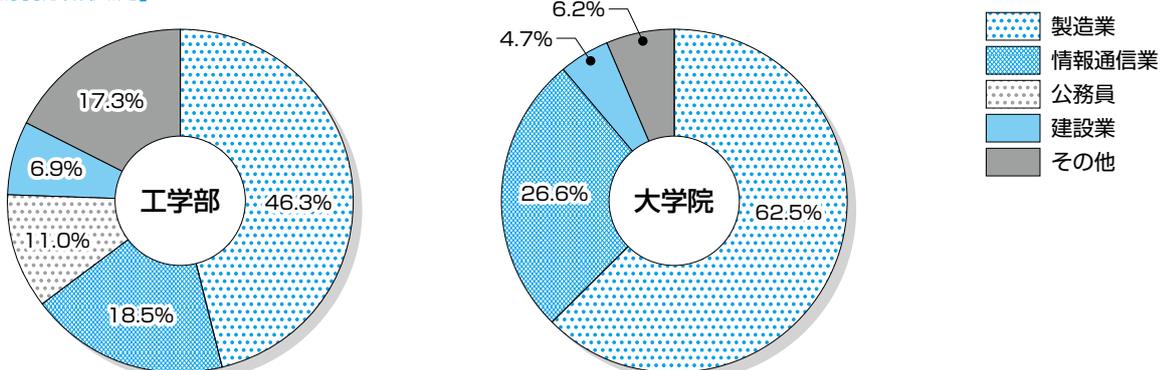
平成29年度卒業・修了生進路状況

(平成30年3月31日現在)

	卒業・修了者数	就職者数		進学者数	
			うち県内就職		うち本学大学院
工学部	250 (42)	173 (34)	71 (20)	76 (8)	69 (6)
機械システム工学科	56 (1)	39 (1)	16 (1)	17 (0)	15 (0)
知能デザイン工学科	49 (5)	34 (4)	16 (2)	15 (1)	15 (1)
電子・情報工学科	57 (7)	35 (7)	10 (3)	22 (0)	22 (0)
環境・社会基盤工学科	47 (9)	40 (8)	16 (5)	7 (1)	7 (1)
生物工学科	41 (20)	25 (14)	13 (9)	15 (6)	10 (4)
大学院・博士前期課程	70 (13)	64 (10)	28 (6)	5 (3)	5 (3)
機械システム工学専攻	19 (1)	18 (0)	9 (0)	1 (1)	1 (1)
知能デザイン工学専攻	18 (6)	18 (6)	7 (4)	0 (0)	0 (0)
情報システム工学専攻	20 (1)	19 (1)	6 (0)	1 (0)	1 (0)
環境工学専攻	6 (1)	4 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)
生物工学専攻	7 (4)	5 (2)	4 (2)	2 (2)	2 (2)

() は女子内数

【業種別就職状況】



SCHEDULE 平成30年度

	工 学 部	大 学 院
6月	1(金) 開学記念日	1(金) エコツアー
	16(土) オープンキャンパス (工学部・看護学部対象)	7(木) 進路ガイダンス
		18(月)、19(火) 特別授業(補講)
		25(月) 編入学試験
7月	上旬 サークルリーダー研修会 28(土) オープンキャンパス (工学部・看護学部対象)	2(月) 工学研究科入学者選抜
		4(水)、5(木)、7(土)、17(火)、18(水) 特別授業(補講)
8月	4(土) ダ・ヴィンチ祭	1(水)～9(木) まとめ又は授業及び試験
		9(水) 前期授業終了
		20(月)～9(日) 集中講義
		21(水)、22(木) 工学研究科入学者選抜
		25(土)、26(日) 保護者向けキャリア支援セミナー

今年度よりオープンキャンパス
2回目は7月開催となります

CAMPUS NOTE

地域協働研究会COCOS



こんにちは！地域協働研究会COCOS(ココス)です。私たちは地域が抱えている問題を地域の方々と対話の中で探り出し、その解決に向けて活動していく団体です。例えば2017年度は公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会の方々と協働し、「リアル人生ゲーム～未来の果てまでイッテQ～」というイベントを開催しました。「富山に住む若者の都会への人口流出」という課題の解決に向けたイベントで、富山の魅力を知ってもらうために自分の生涯をイメージできる人生ゲームで遊びながら学生同士の考えを共有し、自分たちの未来についてのイベントを行いました。他にも、射水市で開催される「いみず祭り」で祭りの運営として毎年参加したり、入善町にてフィールドワークを行い、町をPRする動画を撮影したりと多くの地域の方々に関わりながら活動しました。メンバー全員がそれぞれの持ち味を活かして意見を出し合い、協力し、地域に貢献する。そんな青春がここにあります！2017年度をもって文科省支援の富山県立大学の「地(知)の拠点～Center of Community(COC)～」整備事業は終了となり、節目を迎えることとなりましたが、今まで積み上げてきた地域とのつながりを大切に、今後も地域のためCOCOSは全速前進していきます！

(前代表 電子・情報工学科4年 土屋 樹)



この用紙は資源保護のため、インキは植物油インキを使用しています。

再生紙を使用しています。

編集後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今春から編集後記を担当することになりました学生部長の伊藤伸哉です。どうぞよろしくお願い致します。

大学の周りの桜の花もすっかり新緑に変わり、すがすがしい5月を迎えています。皆さんいかがお過ごしでしょうか。この4月に本学は、新入生436名(学部350名、大学院86名)を迎えました。私も新入生歓迎会に参加しましたが、新入生の皆さんは、受験勉強も終わり、希望大学に進学できたという喜びと希望に満ちており、その笑顔がとても印象的でした。ところで、5月の連休を過ぎるころから、大学生活にも慣れ、生活が不規則になる学生が時々見受けられます。もし「朝の講義に出られない」、「何のために入学したのかわからない」といった状況になったら、早い時期にゼミの先生方や学生相談室の相談を受けてください。学生相談室では、毎日、皆さんの相談を受け付けています。心理的なこと、対人関係など何でも相談できます。もちろん守秘義務がありますので、相談内容が漏れることはありません。少しでも悩みがあったら、ぜひ利用してみてください(学生係で予約して申し込んでください)。

さて、多くの大学が、人口の減少、IT化やグローバル化時代に対応すべく、さまざまな改革を行っています。本学も開学以来、不断の努力を続け、一昨年の医薬品工学科の開設、各学科の定員増、更に今年度、知能デザイン工学科を知能ロボット工学科に改組し、現在、学部6学科(機械システム工学科、知能ロボット工学科、電子・情報工学科、環境・社会基盤工学科、生物工学科、医薬品工学科)、大学院5専攻体制となっています。学部の定員は330名となり、教員も大幅に増員され、現在140名となっています。こうした、定員増に伴い、生協食堂や売店の拡充、仮校舎・研究室の建設を行い、現在は、新学生会館、新校舎の建設が進んでいます。新校舎は鉄筋コンクリート造(9階建：高さ40m超)で、2020年4月に供用を目指しており、地域のランドマークになるものと期待されています。また、新学生会館は県内産木材をふんだんに使用する予定です。更に、来年度は、看護学部看護学科(定員120名)が富山県立中央病院の隣接地に開設されます。いよいよ来年4月から、1学部体制から2学部2キャンパス体制が始まります。この関係で、アクセスが悪かった小杉駅から射水キャンパスまで朝のスクールバスの運行が計画されています。「ドンドンマスマス」充実する本学の様子を、ぜひホームページにてご覧ください。

(学生部長 伊藤 伸哉)